		体	名	和水町							
	ラ ン	の	名 称	国民健康保険和水	町立病院経営強	鱼化プラン					
		定	日	令和 5	年 9	月 2	6 ⊟				
	象	期	間	2023年度(令和5年	丰度) ~	2027年	度(令和9年度	()			
5	病院名	国民健康倪	呆 険和水町	J立病院			経営形態	公営企業法	全部適用		
	所在地	熊本県玉名	5郡和水田	J江田4040番地							
ŧ		•			, 亡 , 任任 [1]	一般	療養	精神	結核	感染症	合計
L .		令和5年度	ぎ当初の許	可病床数	病床種別	49	42	0	0	0	91
		(令和5	5年4月1日	現在)		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	合計
)					病床機能	0	0	49	42	0	91
						—————————————————————————————————————	 療養	 精神	 結核	感染症	 合計
1		令和5年	要中の許す	可病床数	病床種別	49	42	0	0	0	91
			変更状況			↓ - 高度急性期	急性期	 回復期		休床	
					病床機能	0	0	49	42	0	91
	(1) 批步		にを踏ま	 えた病院の果たすべ	┃ ┃	<u> </u>	ŭ .				
	, , –	それに向けた				症の救急搬送					
	で反引し	· · C / U V C HJ V / / .		L.		・担を図るとと:					
							ひに、仏域印名	は区球貝派で元	けった。任七後	が出った。	友で1」ノん
					の役割を担っ		'# <i>\</i> ##\ \ \-	╮ルチ᠊₩₽√╧┌ ┤ เ₽	╵╫╫╫╬╬╅ ┇╬╫╫╫╬╬	到した 一:	7 0 1-+1 '
						圏域の医療提供					_
						「床と回復期病」 「たた」でおり		いる仏光です。	町业病院はそ	ツツ、凹復期 派	为体49体 8
						そ有しており	. •		·	<u></u>	, <u>-1</u> -1- '
						では地域包括を					
						悪化時や軽度の			•		
					きます。また	、その機能を	充分発揮できる	5 様、医療施設	で・介護施設と	のますます密な	な連携を推
					することとし	.ております。 ¹	曼性期機能では	は町立病院の入	、院患者90%以	上が高齢者でる	あり、709
					上が町内の患	者です。高齢々	化率40パーセン	ノトを越える和]水町では、住	民のニーズに対	対応するが
					め、慢性期病	床を維持して	‡いります				
					12/12/13/1	17 TO THE 1 1 OF THE	50 / 50 / 6				
						削減を行う場合)実情を踏まえ	.慎重に検討を	進めていきます	† .
	(2) 地址	域包括ケアシ	ステムの	構築に向けて果たす	許可病床の		合には、地域の				
	, , –	域包括ケアシ とそれに向け			許可病床の経営強化フ	削減を行う場合	合には、地域の 包括ケアシステ	テムの構築に向	けて果たすべ	き8つの役割を	
	べき役割	とそれに向け	けた取組状		許可病床の 経営強化フ す。今後も役)削減を行う場で プランでは地域で	合には、地域の 包括ケアシステ 住民の健康と福	ームの構築に向 晶祉の増進を図	けて果たすべ っていきます	き8つの役割な 。	を掲げてい
	べき役割	とそれに向け	けた取組状	沈	許可病床の 経営強化フ す。今後も役 当院は可能)削減を行う場プランでは地域で割に沿って、1	合には、地域の 包括ケアシステ 主民の健康と福 台療できるもの	ームの構築に向 冨祉の増進を図)については地	けて果たすべ っていきます 域で完結した	き8つの役割な 。	を掲げてい
	べき役割	とそれに向け	けた取組状	沈	許可病床の 経営強化フ す。今後も役 当院は可能 医療を守るた	削減を行う場プランでは地域で割に沿って、10%な限り町内でご	合には、地域の 包括ケアシステ 主民の健康と福 台療できるもの び機能分担が必	ームの構築に向 富祉の増進を図 のについては地 必要不可欠です	けて果たすべ つていきます 域で完結した 。	き8つの役割る。 いと考えている	を掲げてい ますが、 ^は
	べき役割	とそれに向け	けた取組状	沈	許可病床の 経営強化フ す。今後も役 当院は可能 医療を守るた	削減を行う場プランでは地域で割に沿って、付金限り町内ででは連携及るには連携及るは近隣のくま	合には、地域の 包括ケアシステ 主民の健康と福 台療できるもの び機能分担が必	ームの構築に向 富祉の増進を図 のについては地 必要不可欠です	けて果たすべ つていきます 域で完結した 。	き8つの役割る。 いと考えている	を掲げてい ますが、
	べき役割 (3)機能	」とそれに向い 能分化・連携	大取組状強化とそ	沈	許可病床の 経営強化フ す。今後も役 当院は可能 医療を守るた 令和5年度 携を強化しま	削減を行う場プランでは地域で割に沿って、付金限り町内ででは連携及るには連携及るは近隣のくま	合には、地域の 包括ケアシステ 主民の健康と福 台療できるもの び機能分担が必	ームの構築に向 富祉の増進を図 のについては地 必要不可欠です	けて果たすべ つていきます 域で完結した 。	き8つの役割る。 いと考えている	を掲げてい ますが、 ^対
	べき役割 (3)機能 (4)医療	」とそれに向い 能分化・連携	けた取組状強化とそ!	だ況 れに向けた取組状況	許可病床の 経営強化フ す。今後も役 当院は可能 医療を守るた 令和5年度 携を強化しま	削減を行う場プランでは地域で割に沿って、付金限り町内ででは連携及るには連携及るは近隣のくま	合には、地域の 包括ケアシステ 主民の健康と福 台療できるもの び機能分担が必	ームの構築に向 富祉の増進を図 のについては地 必要不可欠です	けて果たすべ つていきます 域で完結した 。	き8つの役割る。 いと考えている	を掲げていますが、サ ますが、サ
	べき役割 (3)機能 (4)医郷 ①医	」とそれに向い 能分化・連携 療機能や医療	けた取組状 強化とそ の質、連 るもの	だ況 れに向けた取組状況	許可病床の 経営強化フ す。今後も役 当院は可能 医療を守るた 令和5年度 携を強化しま	削減を行う場合を行う場合を制に沿って、1000円ででは地域である。 ではいいではな限り町内でである。 ではは連携及るではは近隣のくまます。	合には、地域の 包括ケアシステ 主民の健康と福 台療できるもの び機能分担が必 もと県北病院か	一ムの構築に向 国祉の増進を図 のについては地 必要不可欠です から呼吸器内科	けて果たすべ っていきます 域で完結した 。 と訪問診療医 R7年度	き 8 つの役割 。 いと考えている の派遣を行って R8年度	を掲げていますが、対 ていただき R9年周
	べき役割 (3)機能 (4)医療 ①医	とそれに向い 能分化・連携 療機能や医療 療機能に係る	けた取組状 強化とそ の質、連 るもの	だ況 れに向けた取組状況	許可病床の 経営強化フ す。今後も役 当院は可能 医療を守るた 令和5年度 携を強化しま	削減を行う場合を行う場合を制に沿って、1000円ででは地域である。 ではいいではな限り町内でである。 ではは連携及るではは近隣のくまます。	合には、地域の 包括ケアシステ 主民の健康と福 台療できるもの び機能分担が必 もと県北病院か R5年度 10,000	ームの構築に向 留祉の増進を図 のについては地 必要不可欠です から呼吸器内科 R6年度	けて果たすべ っていきます 域で完結した 。 と訪問診療医 R7年度	き 8 つの役割 。 いと考えている の派遣を行って R8年度	を掲げていますが、対 ていただき R9年周
	べき役割 (3)機能 (4)医郷 ①医	とそれに向い 能分化・連携 療機能や医療 療機能に係る	けた取組状 強化とそ の質、連 るもの	だ況 れに向けた取組状況	許可病床の 経営強も役 す。今後もで 当院はするた で で で で の の の の の の の の の の の の の の の	削減を行う場では地域で割に沿って、では とな限り町内ででは とめには連携及 は近隣のくまました。 R4年度	合には、地域の 包括ケアシステ 主民の健康と福 台療できるもの び機能分担が必 もと県北病院か R5年度 10,000	ームの構築に向 留祉の増進を図 のについては地 必要不可欠です から呼吸器内科 R6年度	けて果たすべ っていきます 域で完結した 。 と訪問診療医 R7年度	き 8 つの役割 。 いと考えている の派遣を行って R8年度	を掲げていますが、は ていただき R9年月
	べき役割 (3)機能 (4)医病 ①医	とそれに向に 能分化・連携 療機能や医療 療機能に係る リハビリ延作 実績 達成率	かけた取組が 強化とそ の質、連 るもの は数	だ況 れに向けた取組状況	許可病床の 経営強も役 す。今後は可能 医療をする年 携を強化しま 標 件 件 %	削減を行う場では地域で割に沿って、では とな限り町内ででは とめには連携及 は近隣のくまました。 R4年度	合には、地域の 包括ケアシステ 主民の健康と福 台療できるもの び機能分担が必 もと県北病院か R5年度 10,000 13,875 138.8	ームの構築に向 留祉の増進を図 のについては地 必要不可欠です から呼吸器内科 R6年度	けて果たすべ つていきます 域で完結した。 と訪問診療医 R7年度 12,000	き 8 つの役割 。 いと考えている の派遣を行って R8年度	を掲げていますが、は ていただき R9年月
	べき役割 (3)機能 (4) 医療 ①医	とそれに向に 能分化・連携 療機能や医療 療機能に係る リハビリ延伸 実績 達成率 訪問診療件数	かけた取組が 強化とそ の質、連 るもの は数	だ況 れに向けた取組状況	許可病床の 経営後もで す。今はもで 当院を守ち年も 携を強化しま 標 件 件 の 件	削減を行う場では地域で割に沿って、1 を割に沿って、1 をな限り町内でであるには連携及びは近隣のくまました。 R4年度 9,785	合には、地域の 包括ケアシステ 主民の健康と福 台療できるもの び機能分担が必 もと県北病院か R5年度 10,000 13,875 138.8 350	- ムの構築に向 記祉の増進を図 のについては地 必要不可欠です から呼吸器内科 R6年度 11,000	けて果たすべ つていきます 域で完結した。 と訪問診療医 R7年度 12,000	き 8 つの役割を。 いと考えている の派遣を行って R8年度 13,000	を掲げていますが、は ていただき R9年月
	べき役割 (3)機能 (4)医療 ①医	とそれに向に 能分化・連携 療機能や医療 療機能に係る リハビリ延伸 実績 達成率 	かけた取組が 強化とそ の質、連 るもの は数	だ況 れに向けた取組状況	許可病床の 経営後 す。今後は 当院を守る り 携を和 り 携を サ はで の はで の はで の はで の はで の は の の は の の は の の は の の は の の は の の は の の は の の は の	削減を行う場では地域で割に沿って、では とな限り町内ででは とめには連携及 は近隣のくまました。 R4年度	合には、地域の 包括ケアシステ 主民の健康と福 台療できるもの び機能分担が必 もと県北病院か R5年度 10,000 13,875 138.8 350 447	- ムの構築に向 記祉の増進を図 のについては地 必要不可欠です から呼吸器内科 R6年度 11,000	けて果たすべ つていきます 域で完結した。 と訪問診療医 R7年度 12,000	き 8 つの役割を。 いと考えている の派遣を行って R8年度 13,000	を掲げていますが、州 ていただき R9年周 13
	べき役割 (3)機能 (4)医類 ①医	をそれに向い 能分化・連携 療機能や医療 療機能に係る リハビリ延作 実績 達成率 訪問診療件数 実績 達成率	サた取組状 強化とそ の質、連 るもの 井数	だ況 れに向けた取組状況	許可病床の 対。今はも可る を の の が の の が の の の で の の の の の の の の の の の の の	削減を行う場では地域で割に沿って、1 を割に沿って、1 をな限り町内でであるには連携及びは近隣のくまました。 R4年度 9,785	合には、地域の 包括ケアシステ 主民の健康と福 台療できるもの び機能分担が必 もと県北病院か 13,875 138.8 350 447 127.7	- ムの構築に向 - 山の増進を図 - いっては地 - 小の呼吸器内科 - R6年度 - 11,000 - 400	けて果たすべ つていきます 域で完結した。 と訪問診療医 R7年度 12,000	き 8 つの役割な。 いと考えている の派遣を行って R8年度 13,000	を掲げていますが、地 ますが、地 ていただき R9年度 13,
	べき役割 (3)機能 (4)医郷 ①医	をそれに向い 能分化・連携 療機能や医療 療機能に係る リハビリ延作 実績 達成率 訪問診療件数 達成率 訪問診療件数 達成率 訪問看護件数	サた取組状 強化とそ の質、連 るもの 井数	だ況 れに向けた取組状況	許可病床の	削減を行う場では地域で割に沿って、1 を割に沿って、1 を	合には、地域の 包括ケアシステ 主民の健康と福 台療できるもの び機能分担が必 もと県北病院か 13,875 138.8 350 447 127.7 2,800	- ムの構築に向 記祉の増進を図 のについては地 必要不可欠です から呼吸器内科 R6年度 11,000	けて果たすべ つていきます 域で完結した。 と訪問診療医 R7年度 12,000	き 8 つの役割な。 いと考えている の派遣を行って R8年度 13,000	を掲げていますが、州 ていただき R9年月 13
	べき役割 (3)機能 (4) 医郷 ①医	をそれに向に 能分化・連携 療機能や医療 療機能に係る リハビリ延作 実績 達成 下 実績 実績 変 訪問看護件数 実績	サた取組状 強化とそ の質、連 るもの 井数	だ況 れに向けた取組状況	許可病床の	削減を行う場では地域で割に沿って、1 を割に沿って、1 をな限り町内でであるには連携及びは近隣のくまました。 R4年度 9,785	合には、地域の 包括ケアシステ 主民の健康と福 台療できるもの び機能分担が必 もと県北病院か 13,875 138.8 350 447 127.7 2,800 2,205	- ムの構築に向 - 山の増進を図 - いっては地 - 小の呼吸器内科 - R6年度 - 11,000 - 400	けて果たすべ つていきます 域で完結した。 と訪問診療医 R7年度 12,000	き 8 つの役割な。 いと考えている の派遣を行って R8年度 13,000	を掲げていますが、地 ますが、地 ていただき R9年度 13,
	べき役割 (3)機能 (4)医郷 ①医	をそれに向い 能分化・連携 療機能や医療 療機能にリ延伸 実績 達成率 訪問診療件数 達成 実績 達成 実績 達成 実績 実績 達成 実績 実績	サた取組状 強化とそ の質、連 るもの *数	だ況 れに向けた取組状況	許可病床の	削減を行う場では地域で (プランでは地域では に沿って、 (本限り町内ででは がは近隣のくません。) R4年度 9,785 286	合には、地域の 包括ケアシステ 主民の健康と福 台療できるもの び機能分担が必 もと県北病院か 13,875 138.8 350 447 127.7 2,800 2,205 78.8	- ムの構築に向 記祉の増進を図 Dについては地 必要不可欠です から呼吸器内科 R6年度 11,000 400 2,800	けて果たすべ つていきます 域で完結した。 と訪問診療医 R7年度 12,000 425	き8つの役割な。 いと考えている の派遣を行って R8年度 13,000 450 2,800	を掲げていますが、 は ますが、 は ていただき R9年月 13
	べき役割 (3)機能 (4)医療 ①医 ②医	をそれに向い 能分化・連携 療機能や医療 療機能に係る リハビリ延作 実績 達成 下 実 護 お問 実 議 実 で 実 で 実 が 実 が 実 が 実 が 実 が に い き に の を う に り に り に り に り に り に り に り に り に り に	サた取組状 強化とそ の質、連 るもの 本 数	だ況 れに向けた取組状況	許可病床の す。当療 令 1	削減を行う場では地域で割に沿って、1 を割に沿って、1 を	合には、地域の 包括ケアシステ 主民の健康と福 台療できるもの び機能分担が必 もと県北病院か 13,875 138.8 350 447 127.7 2,800 2,205 78.8 R5年度	- ムの構築に向 記祉の増進を図 のについては地 必要不可欠です から呼吸器内科 R6年度 11,000 400 2,800 R6年度	けて果たすべ つていきます 域で完結した。 と訪問診療医 R7年度 12,000 425 2,800 R7年度	き 8 つの役割を 。 いと考えている の派遣を行って R8年度 13,000 450 2,800	を掲げていますが、地 ていただき R9年度 13
	べき役割 (3)機能 (4)医類 ①医 ②医	をそれに向に 能分化・連携 療機能やに連携 実績 達成に 実 護問 実 護成 実 護成 実 に で に が に り に り に り に り に り に り に り に り に り	サた取組が 強化とそ の質、連 るもの 本数	だ況 れに向けた取組状況	許可 新 新 所 所 所 が が が が が が が が が が が が が	制減を行う場では地域ではいいでは を割に沿って、他ででは は近隣のくまました。 R4年度 9,785 286	会には、地域の 包括ケアシステ 主民の健康と福 台療できるもの び機能分担が必 もと県北病院か 13,875 138.8 350 447 127.7 2,800 2,205 78.8 R5年度 90.0	- ムの構築に向 記祉の増進を図 Dについては地 必要不可欠です から呼吸器内科 R6年度 11,000 400 2,800	けて果たすべ つていきます 域で完結した。 と訪問診療医 R7年度 12,000 425	き8つの役割な。 いと考えている の派遣を行って R8年度 13,000 450 2,800	を掲げていますが、 は ますが、 は ていただき R9年月 13
	べき役割 (3)機能 (4)医療 ①医 ②医	をそれ・連携 療機機でリン 養機能でリン 養成では 実成では 実成では 実は、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	サた取組が 強化とそ の質、連 るもの 本数	だ況 れに向けた取組状況	許可 新 新 所 所 所 が が が が が が が が が が が が が	削減を行う場では地域で では地域で 割に沿って、 にな限り町内ででは連携及では近隣のくました。 R4年度 9,785 286	会には、地域の 包括ケアシステ 主民の健康と福 台療できるもの び機能分担が必 もと県北病院か 13,875 138.8 350 447 127.7 2,800 2,205 78.8 R5年度 90.0 81.0	- ムの構築に向 記祉の増進を図 のについては地 必要不可欠です から呼吸器内科 R6年度 11,000 400 2,800 R6年度	けて果たすべ つていきます 域で完結した。 と訪問診療医 R7年度 12,000 425 2,800 R7年度	き 8 つの役割を 。 いと考えている の派遣を行って R8年度 13,000 450 2,800	を掲げていますが、地 ていただき R9年度 13
	べき役割 (3)機能 (4) 医郷 ①医 ②医	とそれ・連携を受ける。 とそれ・連携を発機に対しては、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 で	サた取組が 強化とそ の質、連 るもの 本数	だ況 れに向けた取組状況	許可 新 新 所 所 所 が が が が が が が が が が が が が	制減を行う場では地域ではいいでは を割に沿って、他ででは は近隣のくまました。 R4年度 9,785 286	会には、地域の 包括ケアシステ 主民の健康と福 台療できるもの び機能分担が必 もと県北病院か 13,875 138.8 350 447 127.7 2,800 2,205 78.8 R5年度 90.0 81.0 90.0	- ムの構築に向 - 山の増進を図 - からででは地 - 小のでででする。 - 一のででででする。 - 一のでででででする。 - 一のでででする。 - 一のでででする。 - 一のででする。 - 一のでする。 - 一のででする。 - 一のでする。 - 一のでする	けて果たすべ っていきます 域で完結した 。 と訪問診療医 R7年度 12,000 425 2,800 R7年度 90.0	き 8 つの役割を 。 いと考えている の派遣を行って R8年度 13,000 450 2,800 R8年度 90.0	を掲げていますが、地でいただき R9年度 13
	べき役割 (3)機能 (4) 医療 ②医	をそれ・連携 療機機がでは 実達 おけいでは 実達 はいでは 実達 はいでは 実達 はいでは 実達 はいででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	サた取組が 強化とそ の質、連 るもの 本数	だ況 れに向けた取組状況	許可 新 新 所 所 所 が が が が が が が が が が が が が	削減を行う場では地域で (まな限り町内ででは地域では近隣のくまました。) R4年度 9,785 286 67.0	会には、地域の 包括ケアシステ 主民の健康と福 台療できるもの び機能分担が必 もと県北病院か 13,875 138.8 350 447 127.7 2,800 2,205 78.8 R5年度 90.0 81.0 90.0 74.6	- ムの構築に向 記祉の増進を図 のについては地 必要不可欠です から呼吸器内科 R6年度 11,000 400 2,800 R6年度	けて果たすべ つていきます 域で完結した。 と訪問診療医 R7年度 12,000 425 2,800 R7年度	き 8 つの役割を 。 いと考えている の派遣を行って R8年度 13,000 450 2,800	を掲げていますが、地でいただき R9年度 13
	べき役割(4) 医療②医	を かん と を かん と で がん に がん	サた取組が 強化とそ の質、連 るもの 本数	だ況 れに向けた取組状況	許可 新 新 所 所 所 所 が が が が が が が が が が が が が	制減を行う場では地域ではいいでは を割に沿って、他ででは は近隣のくまました。 R4年度 9,785 286	会には、地域の 包括ケアシステ 主民の健康と福 治療できるもの び機能分担が必 もと県北病院か 13,875 138.8 350 447 127.7 2,800 2,205 78.8 R5年度 90.0 81.0 90.0 74.6 53.9	- ムの構築に向 - 山の増進を図 - からででは地 - 小のでででする。 - 一のででででする。 - 一のでででででする。 - 一のでででする。 - 一のでででする。 - 一のででする。 - 一のでする。 - 一のででする。 - 一のでする。 - 一のでする	けて果たすべ っていきます 域で完結した 。 と訪問診療医 R7年度 12,000 425 2,800 R7年度 90.0	き 8 つの役割を 。 いと考えている の派遣を行って R8年度 13,000 450 2,800 R8年度 90.0	を掲げていますが、地でいただき R9年度 13
	べき役割(4) 医療②医	をそれ・連携 療機機がでは 実達 おけいでは 実達 はいでは 実達 はいでは 実達 はいでは 実達 はいででは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	サた取組が 強化とそ の質、連 るもの 本数	だ況 れに向けた取組状況	許可 新 新 所 所 所 が が が が が が が が が が が が が	削減を行う場では地域で (まな限り町内ででは地域では近隣のくまました。) R4年度 9,785 286 67.0	会には、地域の 包括ケアシステ 主民の健康と福 台療できるもの び機能分担が必 もと県北病院か 13,875 138.8 350 447 127.7 2,800 2,205 78.8 R5年度 90.0 81.0 90.0 74.6	ームの構築に向 記祉の増進を図 のについては地 が要不可欠の R6年度 11,000 400 2,800 R6年度 90.0	けて果たすべ っていきます 域で完結した 。 と訪問診療医 R7年度 12,000 425 2,800 R7年度 90.0	き 8 つの役割を 。 いと考えている の派遣を行って R8年度 13,000 450 2,800 R8年度 90.0	を掲げていますが、地でいただき R9年度 13
	べき役割 (3)機能 (4) 医郷 ①医	を かん と を かん と で がん に がん	サた取組状 の も 数 数 数 数 数	だ況 れに向けた取組状況	許可 新 新 所 所 所 所 が が が が が が が が が が が が が	削減を行う場では地域で (まな限り町内ででは地域では近隣のくまました。) R4年度 9,785 286 67.0	会には、地域の 包括ケアシステ 主民の健康と福 治療できるもの び機能分担が必 もと県北病院か 13,875 138.8 350 447 127.7 2,800 2,205 78.8 R5年度 90.0 81.0 90.0 74.6 53.9	- ムの構築に向 - 山の増進を図 - からででは地 - 小のでででする。 - 一のででででする。 - 一のでででででする。 - 一のでででする。 - 一のでででする。 - 一のででする。 - 一のでする。 - 一のででする。 - 一のでする。 - 一のでする	けて果たすべ っていきます 域で完結した 。 と訪問診療医 R7年度 12,000 425 2,800 R7年度 90.0	き 8 つの役割を 。 いと考えている の派遣を行って R8年度 13,000 450 2,800 R8年度 90.0	を掲げていますが、 はていただされていただされていただされていただされる。 R9年月 13 R9年月 15 R9年日 15 R9年日 15 R9年日 15 R9年日 1
	べき役割(4) 医郷②医	を かん と を かん と で がん に ずん かん に リ を で がん かん に リ を で がん で で に がん で で に がん で で に がん で で に がん で で で で で で で で で で かん で で で で で で で で	サた取組状 の も 数 数 数 数 数	だ況 れに向けた取組状況	許可 新 新 所 所 所 所 の で で で で で で で で で で で で で	削減を行う場では地域で (まな限り町内ででは地域では近隣のくまました。) R4年度 9,785 286 67.0	会には、地域の 包括ケアシステ 主民の健康と福 台療できるもの び機能分担が必 もと県北病院か 13,875 138.8 350 447 127.7 2,800 2,205 78.8 R5年度 90.0 81.0 90.0 74.6 53.9 72.3 19,578	ームの構築に向 記祉の増進を図 のについては地 が要不可欠の R6年度 11,000 400 2,800 R6年度 90.0	けて果たすべ っていきます 域で完結した 。 と訪問診療医 R7年度 12,000 425 2,800 R7年度 90.0	き 8 つの役割な。 いと考えている の派遣を行って R8年度 13,000 450 2,800 R8年度 90.0	を掲げていますが、地でいただき R9年度 13,
	べき役割(4) 医病②医	をおかい とこう とう	サた取組状 の も 数 数 数 数 数	だ況 れに向けた取組状況	許可 新子 新子 新子 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	制減を行う場合 プランでは地域で 記を限り町内でで のには連携及い は近隣のくまい した。 R4年度 9,785 286 286 48.8	会には、地域の 包括ケアシステ 主民の健康と福 台療できるもの び機能分担が必 もと県北病院か 13,875 138.8 350 447 127.7 2,800 2,205 78.8 R5年度 90.0 81.0 90.0 74.6 53.9 72.3 19,578	ームの構築に向 記祉の増進を図 のについては地 が要不可欠の R6年度 11,000 400 2,800 R6年度 90.0	けて果たすべ っていきます 域で完結した 。 と訪問診療医 R7年度 12,000 425 2,800 R7年度 90.0	き 8 つの役割な。 いと考えている の派遣を行って R8年度 13,000 450 2,800 R8年度 90.0	を掲げていますが、地でいただき R9年度 13,
	べき役割(4) 医郷②医	とおかい 大き では 大き では 大き できます とこう できます できます では できます では できます では できます できます できます できます できます できます できます できます	サた取組状 の もの 本数 な	だ況 れに向けた取組状況	許可 新子 新子 新子 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	制減を行う場合 プランでは地域で 記を限り町内でで のには連携及い は近隣のくまい した。 R4年度 9,785 286 286 48.8	会には、地域の 包括ケアシステ 主民の健康と福 台療できるもの び機能分担が必 もと県北病院か 13,875 138.8 350 447 127.7 2,800 2,205 78.8 R5年度 90.0 81.0 90.0 74.6 53.9 72.3 19,578 21,605	ームの構築に向 記祉の増進を図 のについては地 が要不可欠の R6年度 11,000 400 2,800 R6年度 90.0	けて果たすべ っていきます 域で完結した。 と訪問診療医 R7年度 12,000 425 2,800 R7年度 90.0 75.0	き 8 つの役割な。 いと考えている の派遣を行って R8年度 13,000 450 2,800 R8年度 90.0	を掲げていますが、地でいただき R9年度 13, R9年度
	べき役割(4) 医類②医	を かん との	サた取組状 の もの 本数 な	だ況 れに向けた取組状況	許 所 所 所 所 所 所 所 所 の で で で で で で で で で で で で で	制減を行う場合 プランでは地域で 記を限り町内でで のには連携及い は近隣のくまい した。 R4年度 9,785 286 286 48.8	会には、地域の 包括ケアシステ 主民の健康と福 台療できるもの び機能分担が必 もと県北病院か 13,875 138.8 350 447 127.7 2,800 2,205 78.8 R5年度 90.0 81.0 90.0 74.6 53.9 72.3 19,578 21,605 110.4 40.0	ームの構築に向 記祉の増進を図 のについては地 必要不可欠です から呼吸器内科 R6年度 11,000 400 R6年度 90.0 60.0	けて果たすべ っていきます 域で完結した。 と訪問診療医 R7年度 12,000 425 2,800 R7年度 90.0 75.0	き8つの役割な。 いと考えている の派遣を行って R8年度 13,000 450 2,800 R8年度 90.0 R8年度	を掲げてい ますが、地

	連携強化等に係るもの		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
	紹介率	%	-	20.0	20.0	20.0	20.0	20
	実績	%	-	9.0				
	達成率	%		45.0				
	医療相談・連携対応件数	件		12,000	12,000	13,000	13,000	13,0
	実績	件	11,602	14,275				
	達成率	%		119.0				
	他病院等からの派遣医師数	人		12	12	13	14	
		人	11	11				
	達成率	%		91.7				
	くまもとメディカルネットワーク	件	_	500	900	1200	1400	1
	実績	件	_	250	300	1200	1100	
	達成率	%		50.0			+	
	くまもとメディカルネットワーク	件		100	200	300	400	
					200	300	400	
	実績	件	-	42				
	達成率	%		42.0				
4	その他必要な数値目標	<u>, </u>	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
	看護実習生受入人数	人		50	60	60	60	
	実績	人	53	63				
	達成率	%		126.0				
	臨床研修医受入人数	人		5	6	6	6	
	実績	人	2	5				
	達成率	%		100				
	健康管理センター受診者数	人		3100	3100	3100	3100	3
	実績	人	3098	2858				
	達成率	%		92.2			+	
	居宅介護支援事業所年間利用者数	人		1450	1500	1500	1500	1.
	実績	人	1428	1283	1300	1300	1300	1
	達成率	%	1420	88.5			-	
(-)			 \ら病院事業への					
(6) 住	E民の理解のための取り組み	〇不採算地区 〇救急を 〇救営基盤 〇地方計の 一名 一名 一名 一名 一名 一名 一名 一名 一名 一名 一名 一名 一名	るお知らせ更新に関するお知らせ・ このお知らせ・ こ関すること・	要する経費・・ 要する経費・・・ る経費・・・ る経費・・・ も は ま ま ま ま ま ま ま ・・・ よ 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 り 、 り 、	・・・・・10 ・・・・・ 8 ・・・・・2 ・・・・・2 ジや防災無線等 引き取り、住民	7,028千円(前年 60,217千円(前年 424千円(前年 6,725千円(前年 41,445千円(前年 を活用し発信し	手比 1,138千 手比▲ 7,520千 手比 164千F 年比 811千 年比▲1,035千 しています。ま	円) 円) 円) 円) 円) た、パブ
		○パブリック						

	(1)経営形態の見直し	平成25年	- 反に地刀公呂」	E未広 (土印地	型用丿 に物刊し		有は町文での	/\ \Z_I
3		者は事業管理	型者です。経営 関者です。経営用	杉態の見直しに	こついては、収	支状況にとら	われがちとな	りますが、
		本となるのは	は地域住民の医療	療提供のために	こ必要な組織体	であることや	責任を持った	経営ができ
の経			どの経営形態が					
見営			Eとなっている <i>†</i>					•
直形								
し態								
	┃ (1) 感染拡大時に備えた平時からの取組	 当院は、原		<u> </u>	 っの新興感染症	 対策として、)	 次のとおり、〕	<u></u> 取組みます。
4			原床に転用しやす					
		感染防護具等	学の備蓄を行い、	また、定期的	りに感染マニュ	アルの点検・	検証・見直し	を行う。
備新		②感染委員会	会を中心に医療領	羊事者の感染 防	ち止に対する意	識向上を図る	研修を定期的	に実施する。
え興		令和5年度	は、病棟の感染	対策に向けて	改修を含めた)	ブーニングの検	食討を行いまし	た。
た感								
平 染								
寺 症								
לי ס								
う感								
か 染								
取 拡								
組大								
時								
に								
	(1)施設・整備の適正管理と整備費の抑制への	の取 建物につい	ヽて、病棟が昭和	060年、外来	そ棟が平成11	年に改築して	おり、内壁、:	外壁ともに
5	組	朽化が進んで	ごいる箇所がある	ることから、優	憂先順位をつけ	計画的に修繕	を行います。	
		設備機器に	こついては、医療	寮機器はメンテ	ナンスを行い	ながら、使用	することを基準	本とし、更
最 施		については、	耐用年数を部署	屠ごとに管理し)ます。計画的	に更新するこ	とで、費用の	平準化によ
亩 =元		適正な管理に	三努めます。					
也 改			4 1 N A u +	+//= <i>t</i>	「医床の紙の	ムロック [序]	存信却の 油堆	l Г=">:
	(2)デジタル化への対応	当院はデー	- ダとアンダル!	支術を活用し、	一医療の質の	同上」や 1医	原旧拟"处土"形。	」、「アン
	(2)デジタル化への対応		-タとテンタル£ 引した業務の効≥					」、「アン
化・	(2)デジタル化への対応	ル技術を活用		× 化」、「医療	景サービスの効	- 率化」等を推	進します。	
化 ・ 整	(2)デジタル化への対応	ル技術を活用	目した業務の効≊ は電子カルテシ	× 化」、「医療	景サービスの効	- 率化」等を推	進します。	
化 整 備	(2) デジタル化への対応(3) 情報通信システムの活用	ル技術を活用 令和5年度 討していきま	目した業務の効≊ は電子カルテシ	図化」、「医療 ステムを導入	寮サービスの効 しました。今@	- 率化」等を推 後は電子カルテ	進します。 ⁻ を中心に院内	oICT化を
化 整 備		ル技術を活用 令和5年度 討していきま 院内の情報	目した業務の効≊ は電子カルテシ ミす。	×化」、「医療 ステムを導入 	寮サービスの効 しました。今@	- 率化」等を推 後は電子カルテ	進します。 ⁻ を中心に院内	oICT化を
化 整 備	(3)情報通信システムの活用 (1)経営指標に関する数値目標	ル技術を活用 令和5年度 討していきま 院内の情報	目した業務の効率 は電子カルテシ きす。 日共通端末をPF 日の向上を目指し	を化」、「医療 ステムを導入 HSからスマー します。	寮サービスの効 しました。今行 -トフォンに切	率化」等を推送は電子カルデリ替え、機能が	進します。 - を中心に院内 性の向上、医	oICT化を
化 整 備	(3)情報通信システムの活用 (1)経営指標に関する数値目標 ①収支改善に係るもの	ル技術を活用 令和5年度 討していきま 院内の情報 化、医療の質	日した業務の効率 は電子カルテシ さす。 日本通端末をPF 日本の向上を目指し 日本の向上を目指し	を化」、「医療 ステムを導入 H S からスマー します。 R 6 年度	₹サービスの効 しました。今ℓ -トフォンに切 R7年度	率化」等を推 参は電子カルラ り替え、機能 R8年度	進します。 - を中心に院内 性の向上、医 R 9 年度	oICT化を
と 整備 の 6	(3)情報通信システムの活用 (1)経営指標に関する数値目標 ①収支改善に係るもの 経常収支比率	ル技術を活用 令和5年度 討していきま 院内の情報 化、医療の質	は電子カルテシ は電子カルテシ ます。	を化」、「医療 ステムを導入 HSからスマー します。	寮サービスの効 しました。今行 -トフォンに切	率化」等を推送は電子カルデリ替え、機能が	進します。 - を中心に院内 性の向上、医	oICT化を
と ・ 整 備 の 6 経	(3)情報通信システムの活用(1)経営指標に関する数値目標①収支改善に係るもの経常収支比率実績	ル技術を活用 令和5年度 討していきま 院内の情報 化、医療の質 % %	は電子カルテシ は電子カルテシ す。	を化」、「医療 ステムを導入 H S からスマー します。 R 6 年度	₹サービスの効 しました。今ℓ -トフォンに切 R7年度	率化」等を推 参は電子カルラ り替え、機能 R8年度	進します。 - を中心に院内 性の向上、医 R 9 年度	oICT化を
と 整備の 6 経営	 (3)情報通信システムの活用 (1)経営指標に関する数値目標 ①収支改善に係るもの 経常収支比率 実績 達成率 	ル技術を活用 令和5年度 討していきま 院内の情報 化、医療の質 % %	は電子カルテシ は電子カルテシ す。	を化」、「医療 ステムを導入 H S からスマー します。 R 6 年度 84.6	Fサービスの効 しました。今何 -トフォンに切 R7年度 97.2	率化」等を推 参は電子カルテ り替え、機能 R8年度 99.8	進します。 - を中心に院内 性の向上、医 R 9 年度 103.0	PのICT化を 療連携の効果
と	 (3)情報通信システムの活用 (1)経営指標に関する数値目標 ①収支改善に係るもの 経常収支比率 実績 達成率 医業収支比率 	ル技術を活用 令和5年度 討していきま 院内の情報 化、医療の質 % % %	は電子カルテシ は電子カルテシ す。	を化」、「医療 ステムを導入 H S からスマー します。 R 6 年度	₹サービスの効 しました。今ℓ -トフォンに切 R7年度	率化」等を推 参は電子カルラ り替え、機能 R8年度	進します。 - を中心に院内 性の向上、医 R 9 年度	gのICT化を 療連携の効
と 6 経営の効・整備の 6	 (3)情報通信システムの活用 (1)経営指標に関する数値目標 ①収支改善に係るもの 経常収支比率 実績 達成率 医業収支比率 実績 	ル技術を活用 令和5年度 討していきま 院内の情報 化、医療の質 % % %	は電子カルテシ は電子カルテシ す。	を化」、「医療 ステムを導入 H S からスマー します。 R 6 年度 84.6	Fサービスの効 しました。今何 -トフォンに切 R7年度 97.2	率化」等を推 参は電子カルテ り替え、機能 R8年度 99.8	進します。 - を中心に院内 性の向上、医 R 9 年度 103.0	gのICT化を 療連携の効
化 6 経営の効率・整備の 6	(3)情報通信システムの活用 (1)経営指標に関する数値目標 ①収支改善に係るもの 経常収支比率 実績 達成率 医業収支比率 実績 達成率 医業収支比率 実績 達成率	ル技術を活用 令和5年度 討していきま 院内の情報 化、医療の質 % % %	は電子カルテシ は電子カルテシ す。	を化」、「医療 ステムを導入 H S からスマー します。 R 6 年度 84.6	Fサービスの効 しました。今6 -トフォンに切 R7年度 97.2	率化」等を推 参は電子カルテ り替え、機能 R8年度 99.8 87.0	進します。 - を中心に院内 性の向上、医 R 9 年度 103.0	RのICT化を 寮連携の効
化	 (3)情報通信システムの活用 (1)経営指標に関する数値目標 ①収支改善に係るもの 経常収支比率 実績 達成率 医業収支比率 実績 達成率 修正医業収支比率 	ル技術を活用 令和5年度 討していきま 院内の情報 化、医療の質 % % % %	は電子カルテシ は電子カルテシ す。	を化」、「医療 ステムを導入 H S からスマー します。 R 6 年度 84.6	Fサービスの効 しました。今何 -トフォンに切 R7年度 97.2	率化」等を推 参は電子カルテ り替え、機能 R8年度 99.8	進します。 - を中心に院内 性の向上、医 R 9 年度 103.0	RのICT化を 寮連携の効
化 6 経営の効率・整備の 6	(3)情報通信システムの活用 (1)経営指標に関する数値目標 ①収支改善に係るもの 経常収支比率 実績 達成率 医業収支比率 実績 達成率 修正医業収支比率 実績	ル技術を活用 令和5年度 討していきま 院内の情報 化、医療の質	は電子カルテシ は電子カルテシ す。	を化」、「医療 ステムを導入 H S からスマー します。 R 6 年度 84.6	Fサービスの効 しました。今6 -トフォンに切 R7年度 97.2	率化」等を推 参は電子カルテ り替え、機能 R8年度 99.8 87.0	進します。 - を中心に院内 性の向上、医 R 9 年度 103.0	RのICT化を 寮連携の効
化 6 経営の効率・整備の 6	(3)情報通信システムの活用 (1)経営指標に関する数値目標 ①収支改善に係るもの 経常収支比率 実績 達成率 医業収支比率 実績 達成率 修正医業収支比率 実績 達成率	ル技術を活用 令和5年度 討していきま 院内の情報 化、医療の質 % % % %	は電子カルテシ は電子カルテシ す。	図化」、「医療ステムを導入 イSからスマーンます。 R6年度 84.6 73.3	Fサービスの効 しました。今何 -トフォンに切 R7年度 97.2 83.6	平化」等を推 をは電子カルテ り替え、機能 R8年度 99.8 87.0	進します。 - を中心に院内 性の向上、医 R 9 年度 103.0 90.6	RのICT化を 療連携の効
化 6 経営の効率・整備の 6	(3)情報通信システムの活用 (1)経営指標に関する数値目標 ①収支改善に係るもの 経常収支比率 実績 達成率 医業収支比率 実績 達成率 修正医業収支比率 実績 達成率 ののである。	ル技術を活用 令和5年度 討していきま 院内の情報 化、医療の質	は電子カルテシ は電子カルテシ す。	を化」、「医療ステムを導入 イSからスマーンます。 R6年度 84.6 73.3	ドサービスの効 しました。今何 トフォンに切 R7年度 97.2 83.6 R7年度	率化」等を推 参は電子カルテ り替え、機能 R8年度 99.8 87.0 79.0	進します。 - を中心に院内 性の向上、医 R 9 年度 103.0 90.6 R 9 年度	RのICT化を 療連携の効
化 6 経営の効率・整備の 6	(3)情報通信システムの活用 (1)経営指標に関する数値目標 ①収支改善に係るもの 経常収支比率 実績 達成率 医業収支比率 実績 達成率 修正医業収支比率 実績 達成率 (3)収支改善に係るもの 1日当たりの入院患者数	ル技術を活用 令和5年度 討していきま 院内の情報 化、医療の質	は電子カルテシ は電子カルテシ ます。	図化」、「医療ステムを導入 イSからスマーンます。 R6年度 84.6 73.3	Fサービスの効 しました。今何 -トフォンに切 R7年度 97.2 83.6	平化」等を推 をは電子カルテ り替え、機能 R8年度 99.8 87.0	進します。 - を中心に院内 性の向上、医 R 9 年度 103.0 90.6	RのICT化を 療連携の効
化 6 経営の効率・整備の 6	(3)情報通信システムの活用 (1)経営指標に関する数値目標 ①収支改善に係るもの 経常収支比率 実績 達成率 医業収支比率 実績 達成率 修正医業収支比率 実績 達成率 (3)収支改善に係るもの 1日当たりの入院患者数 実績	ル技術を活用 令和5年度 討していきま 院内の情報 化、医療の質 % % % % % % % % % %	R 5 年度 100.6 105.3 104.7 89.0 81.2 91.2 81.0 72.8 89.9 R 5 年度 68.0 49.0	を化」、「医療ステムを導入 イSからスマー します。 R6年度 84.6 73.3 66.0	ドサービスの効 しました。今何 トフォンに切 R7年度 97.2 83.6 R7年度	率化」等を推 参は電子カルテ り替え、機能 R8年度 99.8 87.0 79.0	進します。 - を中心に院内 性の向上、医 R 9 年度 103.0 90.6 R 9 年度	RのICT化を 療連携の効
化 6 経営の効率・整備の 6	(3)情報通信システムの活用 (1)経営指標に関する数値目標 ①収支改善に係るもの 経常収支比率 実績 達成率 医業収支比率 実績 達成率 修正医業収支比率 実績 達成率 の1日当たりの入院患者数 実績 達成率	ル技術を活用 令和5年度 討していきま 院内の情報 化、医療の質 % % % % % % % % % % % % %	R 5 年度 100.6 105.3 104.7 89.0 81.2 91.2 81.0 72.8 89.9 R 5 年度 68.0 49.0 72.0	を化」、「医療ステムを導入 イSからスマーンます。 R6年度 84.6 73.3	Fサービスの効 しました。今何 -トフォンに切 R7年度 97.2 83.6 76.0 R7年度 68.1	平化」等を推 をは電子カルテ り替え、機能 R8年度 99.8 87.0 79.0 R8年度 72.6	進します。 - を中心に院内 性の向上、医 R 9 年度 103.0 90.6 83.0 R 9 年度 77.1	RのICT化を 療連携の効
と	(3)情報通信システムの活用 (1)経営指標に関する数値目標 ①収支改善に係るもの 経常収支比率 実績 達成率 医業収支比率 実績 達成率 修正医業収支比率 実績 達成率 (3)収支改善に係るもの 1日当たりの入院患者数 実績 達成率 1日当たりの外来患者数	ル技術を活用 令和5年度 討していきま 院内の情報 化、医療の質	R 5 年度 100.6 105.3 104.7 89.0 81.2 91.2 81.0 72.8 89.9 R 5 年度 68.0 49.0 72.0	を化」、「医療ステムを導入 イSからスマー します。 R6年度 84.6 73.3 66.0	ドサービスの効 しました。今何 トフォンに切 R7年度 97.2 83.6 R7年度	率化」等を推 参は電子カルテ り替え、機能 R8年度 99.8 87.0 79.0	進します。 - を中心に院内 性の向上、医 R 9 年度 103.0 90.6 R 9 年度	RのICT化を 療連携の効
化 6 経営の効率・整備の 6	(3)情報通信システムの活用 (1)経営指標に関する数値目標 ①収支改善に係るもの 経常収支比率 実績 達成率 医業収支比率 実績 達成率 修正医業収支比率 実績 達成率 1日当たりの入院患者数 実績 達成率 1日当たりの外来患者数 実績	ル技術を活用 令和5年度 討してい。情報 化、医療の質	R 5 年度 100.6 105.3 104.7 89.0 81.2 91.2 81.0 72.8 89.9 R 5 年度 68.0 49.0 72.0 99.1	を化」、「医療ステムを導入 イSからスマーンます。 R6年度 84.6 73.3	Fサービスの効 しました。今何 -トフォンに切 R7年度 97.2 83.6 76.0 R7年度 68.1	平化」等を推 をは電子カルテ り替え、機能 R8年度 99.8 87.0 79.0 R8年度 72.6	進します。 - を中心に院内 性の向上、医 R 9 年度 103.0 90.6 83.0 R 9 年度 77.1	RのICT化を 療連携の効
と	(3)情報通信システムの活用 (1)経営指標に関する数値目標 ①収支改善に係るもの 経常収支比率 実績 達成率 医業収支比率 実績 達成率 修正医業収支比率 実績 達成率 1日当たりの入院患者数 実績 達成率 1日当たりの外来患者数 実績 達成率	ル技術を活用 令和5年度 討してい。情報 化、医療の質	R 5 年度 100.6 105.3 104.7 89.0 81.2 91.2 81.0 72.8 89.9 R 5 年度 68.0 49.0 72.0 99.1 97.3 98.2	を化」、「医療ステムを導入 イSからスマーンます。 R6年度 84.6 73.3 66.0 R6年度 54.5	ドサービスの効 しました。今後 -トフォンに切 R7年度 97.2 83.6 76.0 R7年度 68.1	平化」等を推定 をは電子カルテ り替え、機能が R8年度 99.8 87.0 79.0 R8年度 72.6	進します。 - を中心に院内 性の向上、医 R9年度 103.0 90.6 83.0 R9年度 77.1	RのICT化を 療連携の効
と	(3)情報通信システムの活用 (1)経営指標に関する数値目標 ①収支改善に係るもの 経常収支比率 実績 達成率 医業収支比率 実績 達成率 修正医業収支比率 実績 達成率 1日当たりの入院患者数 実績 達成率 1日当たりの外来患者数 実績 達成率 入院患者数1人1日当たりの診療収入	ル技術を活用 令和5年度 討していきま 院内の情報 化、医療の質 ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※ ※	R 5 年度 100.6 105.3 104.7 89.0 81.2 91.2 81.0 72.8 89.9 R 5 年度 68.0 49.0 72.0 99.1 97.3 98.2 22,500	を化」、「医療ステムを導入 イSからスマーンます。 R6年度 84.6 73.3	Fサービスの効 しました。今何 -トフォンに切 R7年度 97.2 83.6 76.0 R7年度 68.1	平化」等を推 をは電子カルテ り替え、機能 R8年度 99.8 87.0 79.0 R8年度 72.6	進します。 - を中心に院内 性の向上、医 R 9 年度 103.0 90.6 83.0 R 9 年度 77.1	RのICT化を 療連携の効
化 6 経営の効率・整備の 6	(3)情報通信システムの活用 (1)経営指標に関する数値目標 ①収支改善に係るもの 経常収支比率 実績 達成率 医業収支比率 実績 達成率 修正医業収支比率 実績 達成率 1日当たりの入院患者数 実績 達成率 1日当たりの外来患者数 実績 達成率 入院患者数1人1日当たりの診療収入 実績	ル技術を活用 令和5年度 討していの情報 化、医療の質	R 5 年度 100.6 105.3 104.7 89.0 81.2 91.2 81.0 72.8 89.9 R 5 年度 68.0 49.0 72.0 99.1 97.3 98.2 22,500 25,044	を化」、「医療ステムを導入 イSからスマーンます。 R6年度 84.6 73.3 66.0 R6年度 54.5	ドサービスの効 しました。今後 -トフォンに切 R7年度 97.2 83.6 76.0 R7年度 68.1	平化」等を推定 をは電子カルテ り替え、機能が R8年度 99.8 87.0 79.0 R8年度 72.6	進します。 - を中心に院内 性の向上、医 R9年度 103.0 90.6 83.0 R9年度 77.1	RのICT化を 療連携の効
化 6 経営の効率・整備の 6	(3)情報通信システムの活用 (1)経営指標に関する数値目標 ①収支改善に係るもの 経常収支比率 実績 達成率 医業収支比率 実績 達成率 ②収支改善に係るもの 1日当たりの入院患者数 実績 達成率 1日当たりの外来患者数 実績 達成率 入院患者数1人1日当たりの診療収入 実績 達成率	ル技術を活用 令和5年度 討していの情報 化、医療の質	R 5 年度 100.6 105.3 104.7 89.0 81.2 91.2 81.0 72.8 89.9 R 5 年度 68.0 49.0 72.0 99.1 97.3 98.2 22,500 25,044 111.3	を化」、「医療ステムを導入 イSからスマーンます。 R6年度 84.6 73.3 66.0 R6年度 54.5	ドサービスの効しました。今後 -トフォンに切 R7年度 97.2 83.6 76.0 R7年度 68.1	率化」等を推 参は電子カルテ り替え、機能 R8年度 99.8 87.0 79.0 R8年度 72.6	進します。 - を中心に院内 性の向上、医 R 9 年度 103.0 83.0 R 9 年度 77.1 92.6	京のICT化を 寮連携の効
化 6 経営の効率・整備の 6	(3)情報通信システムの活用 (1)経営指標に関する数値目標 ①収支改善に係るもの 経常収支比率 実績 達成率 医業収支比率 実績 達成率 修正医業収支比率 実績 達成率 1日当たりの入院患者数 実績 達成率 1日当たりの外来患者数 実績 達成率 入院患者数1人1日当たりの診療収入 実績 達成率 外来患者数1人1日当たりの診療収入	ル技術を活用 令和5年度 討していの情報 化、医療の質	R5年度 100.6 105.3 104.7 89.0 81.2 91.2 81.0 72.8 89.9 R5年度 68.0 49.0 72.0 99.1 97.3 98.2 22,500 25,044 111.3 7,500	を化」、「医療ステムを導入 イSからスマーンます。 R6年度 84.6 73.3 66.0 R6年度 54.5	ドサービスの効 しました。今後 -トフォンに切 R7年度 97.2 83.6 76.0 R7年度 68.1	平化」等を推定 をは電子カルテ り替え、機能が R8年度 99.8 87.0 79.0 R8年度 72.6	進します。 - を中心に院内 性の向上、医 R9年度 103.0 90.6 83.0 R9年度 77.1	京のICT化を 寮連携の効
化 6 経営の効率・整備の 6	(3)情報通信システムの活用 (1)経営指標に関する数値目標 ①収支改善に係るもの 経常収支比率 実績 達成率 医業収支比率 実績 達成率 ②収支改善に係るもの 1日当たりの入院患者数 実績 達成率 1日当たりの入院患者数 実績 達成率 入院患者数1人1日当たりの診療収入 実績 達成率 外来患者数1人1日当たりの診療収入 実績	ル技術を活用 令和5年度 討していの原の 化、医療の 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	R5年度 100.6 105.3 104.7 89.0 81.2 91.2 81.0 72.8 89.9 R5年度 68.0 49.0 72.0 99.1 97.3 98.2 22,500 25,044 111.3 7,500 6,866	を化」、「医療ステムを導入 イSからスマーンます。 R6年度 84.6 73.3 66.0 R6年度 54.5	ドサービスの効しました。今後 -トフォンに切 R7年度 97.2 83.6 76.0 R7年度 68.1	率化」等を推 参は電子カルテ り替え、機能 R8年度 99.8 87.0 79.0 R8年度 72.6	進します。 - を中心に院内 性の向上、医 R 9 年度 103.0 83.0 R 9 年度 77.1 92.6	京のICT化を 寮連携の効
化	(3)情報通信システムの活用 (1)経営指標に関する数値目標 ①収支改善に係るもの 経常収支比率 実績 達成率 医業収支比率 実績 達成率 ②収支改善に係るもの 1日当たりの入院患者数 実績 達成率 1日当たりの外来患者数 実績 達成率 入院患者数1人1日当たりの診療収入 実績 達成率 外来患者数1人1日当たりの診療収入 実績 達成率	ル技術を活用 令和5年度 討していの情報 化、医療の質	R 5 年度	図化」、「医療ステムを導入 イSからスマーンます。 R6年度 84.6 73.3 66.0 R6年度 54.5	ドサービスの効しました。今後 -トフォンに切 R7年度 97.2 83.6 76.0 R7年度 68.1 96.7	率化」等を推 をは電子カルデ り替え、機能 R 8 年度 99.8 87.0 79.0 R 8 年度 72.6 94.7 24,300	進します。 - を中心に院内 性の向上、医 R 9 年度 103.0 83.0 R 9 年度 77.1 92.6 24,750	京のICT化を表 原連携の効率
化 6 経営の効率・整備の 6	(3)情報通信システムの活用 (1)経営指標に関する数値目標 ①収支改善に係るもの 経常収支比率 実績 達成率 医業収支比率 実績 達成率 修正医業収支比率 実績 達成率 ②収支改善に係るもの 1日当たりの入院患者数 実績 達成率 1日当たりの外来患者数 実績 達成率 入院患者数1人1日当たりの診療収入 実績 達成率 外来患者数1人1日当たりの診療収入 実績 達成率 病床使用率	ル技術を活用 令和5年度 討していの療の質 化、医療の質 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	R 5 年度	を化」、「医療ステムを導入 イSからスマーンます。 R6年度 84.6 73.3 66.0 R6年度 54.5	ドサービスの効しました。今後 -トフォンに切 R7年度 97.2 83.6 76.0 R7年度 68.1	率化」等を推 参は電子カルテ り替え、機能 R8年度 99.8 87.0 79.0 R8年度 72.6	進します。 - を中心に院内 性の向上、医 R 9 年度 103.0 83.0 R 9 年度 77.1 92.6	京のICT化を表 原連携の効率
備の 6 経営の効率	(3)情報通信システムの活用 (1)経営指標に関する数値目標 ①収支改善に係るもの 経常収支比率 実績 達成率 医業収支比率 実績 達成率 ②収支改善に係るもの 1日当たりの入院患者数 実績 達成率 1日当たりの外来患者数 実績 達成率 入院患者数1人1日当たりの診療収入 実績 達成率 外来患者数1人1日当たりの診療収入 実績 達成率	ル技術を活用 令和5年度 討していの情報 化、医療の質	R 5 年度	図化」、「医療ステムを導入 イSからスマーンます。 R6年度 84.6 73.3 66.0 R6年度 54.5	ドサービスの効しました。今後 -トフォンに切 R7年度 97.2 83.6 76.0 R7年度 68.1 96.7	率化」等を推 をは電子カルデ り替え、機能 R 8 年度 99.8 87.0 79.0 R 8 年度 72.6 94.7 24,300	進します。 - を中心に院内 性の向上、医 R 9 年度 103.0 83.0 R 9 年度 77.1 92.6 24,750	京のICT化を表 原連携の効率

		DE左曲	DG左曲	D7左庇	DO 左 庇	DO左曲			
	0/	R 5 年度	R 6 年度	R7年度	R 8 年度	R9年度			
職員給与比率 中结	%	73.3	89.3	76.4	73.6	70.9			
実績	%	76.2							
達成率	%	96.2							
材料費比率	%	9.9	11.5	10.1	9.7	9.3			
実績	%	10.2							
達成率	%	97.1							
④経営の安定性に係るもの	1	R 5 年度	R 6 年度	R7年度	R8年度	R9年度			
常勤医師数	人	4	4	5	5	5			
実績	人	4							
達成率	%	100							
看護師数(看護助手除く)	人	49	49	51	51	51			
実績	人	50							
達成率	%	102.0							
医療相談・連携対応数	件	12,000	12,000	13,000	13,000	13,000			
実績	件	14,275							
達成率	%	119.0							
企業債残高	円	331,975	370,266	320,420	259,269	192,535			
実績	円	330,074							
達成率	%	100.6							
目標達成に向けた具体的な取組	,				I				
①収入確保に係るもの	した。引き続	職として作業療 き、収益確保に 北病院より訪問	こ向けて施設基	基準を見直しを	行って行きたい	いと思います。			
②経費削減に係るもの	・検査の試薬	・一部の先発医薬品を返品し、後発医薬品に変更することで経費の削減を行いました。 ・検査の試薬について機器購入と同時に、これまで使用していた試薬の見直しを実施しまし ・補助食品の適正利用するため、栄養科で管理、指導を病棟へ実施しました。							
③経営の安定性に係るもの		ホームページで 医師確保に向り			関に登録、大学	学や近隣病院			
		交通手段の確保							
④その他	足になったこ	ともありました	たが、1年間無	事に事業を継続	売し住民への医	₹療の提供する			

ました。